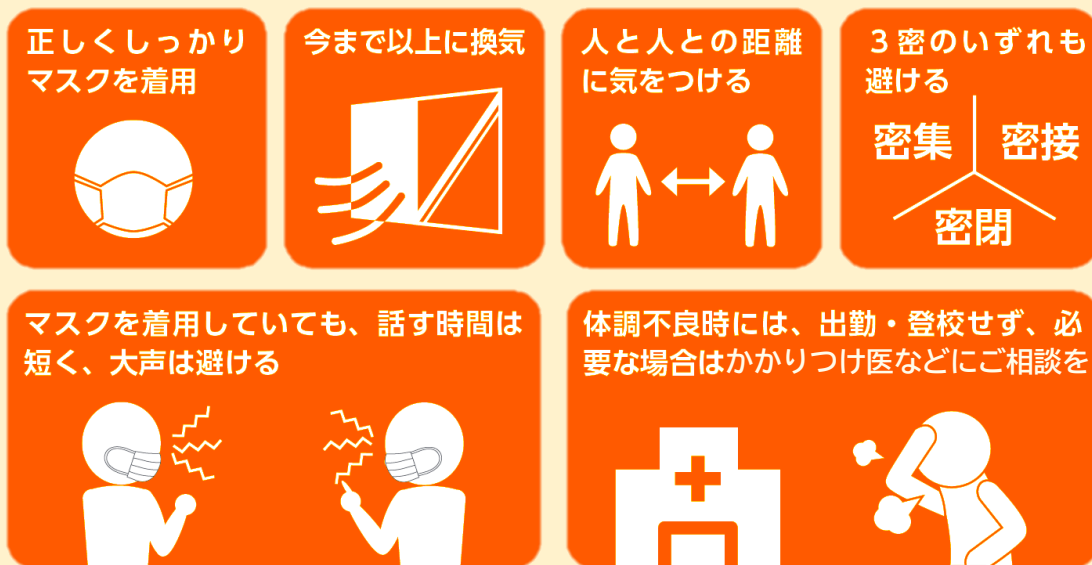


# コロナ禍における 地域活動事例集

●基本の感染対策として「新しい生活様式」を取り入れましょう！



## 【目次】contents

- ▶ はじめに ..... 1
- ▶ 防犯活動 ..... 2
- ▶ 防災活動 ..... 3
- ▶ 健康づくり ..... 4
- ▶ 環境美化 ..... 5
- ▶ ふれあい ..... 6
- ▶ 会議・運営 ..... 7
- ▶ 情報発信 ..... 9
- ▶ 他市事例 ..... 10
- ▶ さいごに ..... 11

<活動別の工夫・感想事例>

# はじめに

## Introduction



新型コロナウイルス感染症の発生から1年半以上が経過し、現在、新規感染者数は全国的に減少傾向にあります。大阪府においても令和3年9月30日をもって緊急事態宣言が解除されましたが、未だに終息の目途はたっており、自分が感染しない、ほかの人を感染させないために、引き続き「新しい生活様式」に取り組んでいく必要があります。

新型コロナウイルス感染症流行当初は多くの団体において自粛されていた地域活動ですが、コロナ禍においても地域のつながりを保ち続けるために、様々な団体において適切な感染対策をとりながら、新たな取り組みや、既存の取り組みを工夫しながら徐々に再開されています。

この度、校区まちづくり協議会、自治振興委員会みなさんにご協力いただき、コロナ禍における地域活動やその工夫などについて、お寄せいただいた内容等をもとに「コロナ禍における地域活動事例集」を作成しましたので、地域の各種団体でも共有していただくなど、今後の地域活動の参考としていただけたら幸いです。

(情報は令和3年8月末時点の状況を取りまとめたもの)

### 【各項目の説明】

工夫

地域で取り組まれている「工夫」の内容について紹介しています。

感想

取り組まれた際の「感想」（良かったことや困っていること）を紹介しています。

今後の活動  
に向けて

課題や対策等、今後の活動に向けて取り組んでいきたいことを紹介しています。

<活動別の工夫・感想事例>

# 防犯活動

Security activities

コロナ禍における地域の防犯活動は、日ごろできていなかった点検や整備、住民同士の交流方法を変える等、工夫して取り組みましょう。

工夫

感想

- ・マスクの着用や密の回避を徹底しながら、登下校時の見守り活動を継続した。
- ・様々な地域活動が中止となったが、多発する自転車盗難やいたずらへの対応として、無断駐輪車の撤去・駐輪禁止プレートの掲示を行った。
- ・日ごろできていなかった活動として、防犯灯やカーブミラー、広報板、消火器の点検や不安に思っていることの聞き取り等を行った。
- ・防犯活動の一環として、高齢者や一人暮らし世帯の安否確認や友愛訪問を町会加入者の65才以上全員に拡大した。また友愛訪問の際、お茶以外にも、こども会の協力を得て、子どもたちに書いてもらった絵やメッセージを渡した。市民スポーツ祭も中止になったため、町会から子どもへのお礼として、図書カードをプレゼントした。

## 【良かったこと】

- ・小学校PTA主催の地区懇談会に、「コロナ禍における地域の安全対策」について情報共有する場をいただき、地域と小学校との連携を深めることができた。
- ・啓発プレートの掲示により、無断駐輪が減り、結果、地域内での事故が減少した。
- ・高齢者や子どもたちとのふれあいの機会を創出できた。

## 【困っていること】

- ・集会所に集まっての会議ができないため、日ごろの見守り活動を含め、話し合いや情報共有等にLINEを活用したが、スマホやパソコンを活用できる人が少なく、できる人に作業が集中してしまった。

今後の活動  
に向けて

- ・高齢者が多い町会のため、スマホやパソコンの活用は難しいが、できるだけ多くの人が使えるような仕組みを作っていきたい。
- ・聞き取りの中で、バイクや自転車の盗難、空き巣、深夜の侵入、居空き、車上荒らし、ひったくり等を不安に思っている人が多かったため、地域の防犯活動を見直していきたい。

<活動別の工夫・感想事例>

# 防災活動

## Disaster prevention

災害はいつ発生するか分かりません。感染対策をとるほか、活動手法や情報発信についても工夫し、コロナ禍においても防災意識を保つための取り組みを進めましょう。

### 工夫

- ・大人数での訓練を止め、防災リーダー育成のための勉強会を行った。密を避けるため2回に分け、災害に関する映像の視聴、少人数での意見交換、発表を行った。距離を保てない意見交換時は、マスクの上からフェイスシールドも着用した。
- ・各種団体等のリモートセミナーに積極的に参加し、リモートに慣れることを心がけたうえで、防災リーダー会議をリモートで実施した。
- ・コロナ禍による避難所の定員減少により、新たな避難場所としてグラウンドの活用を検討した。検証の際、例年の防災訓練では距離が保てない恐れがあるため、地域の防災担当者を対象に、感染対策のうえ、テントの設営等を行った。実施後は地区防災計画へ反映するとともに、ホームページで事業紹介を行った。
- ・自主防災委員会が50人規模のため、少人数で事前会議を行った。緊急事態宣言発出に伴い対面ではなく、Zoomで現状等の確認や今後の進め方を議論した。

### 感想

#### 【良かったこと】

- ・リモートにより、天候、会場確保等の心配がなく、自宅で気軽に参加できた。
- ・長期化する緊急事態宣言中に、進行状況を確認しあえたことで意思統一ができた。
- ・コロナ禍での行事のあり方を経験できた。

#### 【大変だったこと・困っていること】

- ・感染対策のため、午前、午後に分けたことにより、スタッフの負担が倍になった。
- ・コロナ禍で参加者を限定したが、さらに多くの住民と情報共有する必要があると感じた。
- ・リモート会議ができるかは、参加者のネット環境によるところが大きい。

### 今後の活動 に向けて

- ・全体で防災訓練を行う場合の、感染対策をどのように行うかが課題である。
- ・リモートを経験した防災リーダーが中心となり、Zoomの使い方を他の委員に伝えていきたい。
- ・緊急事態宣言が発出されれば、Zoom会議の検討を行う。





<活動別の工夫・感想事例>

# 健康づくり

## Health Promotion

コロナ禍においても、健康的な生活を送るため、新しい生活様式を取り入れた運動習慣を地域みなさんと一緒に作りましょう。



### 工夫

- ・地域リーダー養成講座や健康教室実施の際、参加人数を15人以下にし、換気、こまめな消毒等を徹底した。また、会議参加者の各リーダーへの連絡手段として、LINEの利用を始めた。
- ・感染対策を講じ、河内音頭健康体操を、月3回のペースで実施した。その他、体操の掛け声の音量は控えめにする、会場入口に参加者名簿を設置し、参加者の連絡先の記録を取るなどの対応を行った。また、熱中症予防として水分補給と休憩の機会を設けるなど、新型コロナウイルス感染症だけでなく、参加者の体調を意識した対策をとっている。

### 感想

#### 【良かったこと】

- ・コロナ禍のもと、不要不急の外出自粛が求められ、身体を動かす機会やお互いに顔を合わせる機会も減る中、フレイル(※)対策や気持ちの切り替えの機会として参加者から好評である。
- ・感染対策備品として、卓上アルコール消毒噴霧器、非接触型体温計、CO<sub>2</sub>測定器を準備し、コロナ対策の環境整備ができた。

#### 【困っていること】

- ・高齢者への見守りが不足している。
- ・感染リスクとフレイル(※)リスクの兼ね合いがあり、実施の判断が難しい。

※フレイルとは加齢により心身が老い衰えた状態のこと。

### 今後の活動に向けて

- ・民生委員以外で高齢者への訪問活動を行うボランティアの募集計画を立てる。
- ・地域の総合力が発揮できるよう、各団体、行政、NPOとのネットワークづくりを進めていく。
- ・未だ感染拡大の終息が見通せない中、参加者のフレイル対策の機会として、参加者の意向や意見を都度取り入れ、対策を改善しながら、今後も積極的な活動を続けていきたい。

<活動別の工夫・感想事例>

# 環境美化

Beautification

コロナ禍における地域の環境美化活動は、屋外活動でも、参加者同士の距離を十分に取る、活動内容の事前周知をする、時間を短縮して実施する等、工夫して取り組みましよう。

工夫

感想

- ・清掃実施前に、実施予定日やコロナ禍での作業の留意点・注意事項等を連絡した。
- ・清掃区間を分け、人を均等配置することで、距離が十分取れるよう配慮した。
- ・緊急事態宣言中の定期清掃は中止とし、その間、日ごろできなかった清掃工具や芝刈機、枝切ばさみ等のメンテナンスを行うとともに、定期廃品回収の年間一覧表を作成し、地域内での掲示を行った。
- ・清掃時、共用の清掃用具も準備したが、感染予防のため、用具を貸し借りしないように持参を呼びかけるとともに、ブローワー、ほうき、熊手、袋詰めなど担当する作業や場所を決めた。

## 【良かったこと】

- ・児童・生徒をはじめ、通行人に「いつもありがとう」「すっきりして気持ちいい」等、感謝の言葉をいただけたことが、何よりも良かった。
- ・清掃活動の参加者全員が、感染対策に協力し、スムーズに清掃活動することができ、コロナ禍での活動の一つとして経験することができた。
- ・対面での会議ができない中であるが、町会員間で情報共有や意見交換をLINE等のアプリで行うことで、町会行事を円滑に行うことができた。

## 【困っていること】

- ・清掃活動の日程や注意事項等の情報共有の際、チラシに加え、スマホアプリを活用したが、スマホやパソコンを活用できる人が少なく、できる人に作業が集中してしまった。

今後の活動  
に向けて

- ・コロナ禍でも清掃活動をはじめ、様々な活動を継続、定着できるよう、地域住民の意見や要望を取り入れながら、より気軽に参加できる行事・活動を提案していきたい。
- ・高齢者が多い自治会なので、LINE等スマホアプリの使い方の支援ができる人材を育てていきたい。

<活動別の工夫・感想事例>

# ふれあい communication

コロナ禍では人と接することが制限され、行事が開催できないなど「ふれあい」の機会が減りますが、工夫をすることで人々のふれあいの場を継続している地域もあります。

工夫

感想

今後の活動  
に向けて

- ・ 小学校の入学式と卒業式において、式前は、正門前の離れた場所で、式後は校庭へ出るところで「おめでとう」と直筆の横断幕を掲げ、無言のお祝いを行った。
- ・ 今までは毎月、一人暮らしの高齢者を対象に集まって誕生日のお祝いをしていましたが、コロナ禍においてはコミセン入口まで来ていただき、花束を渡して近況などを伺った。コミセンまで歩いて来ていただくことで、体力維持、フレイル(※)対策にもなり、お話を聞くことで支援にも役立った。

※フレイルとは加齢により心身が老い衰えた状態のこと。

- ・ 飲食スペースのテーブル上に設置する飛沫防止パーティションや会場への入場時に使用する体温計と消毒液等を購入した。
- ・ 地域内に掲示する開催案内ポスターや情報紙に、イベント会場での「感染対策にご協力を」の言葉を掲載した。
- ・ 会場への入退場を1カ所にし、入場時に受付で検温、手指消毒、住所・氏名・連絡先の記入、マスクの着用確認を必ず実施した。
- ・ 高齢者の孤立防止や世代間交流のため、絵手紙の作成・交換、ビンゴゲーム、なぞなぞ、俳句の募集・句集作成を実施した。対象者にはハガキや会報をつかって、一人暮らし高齢者の会とこども会の世話人が配布・回収を行った。

## 【良かったこと】

- ・ 入学式、卒業式に出席できなくてもメッセージを掲示することで児童や保護者にお祝いメッセージを直接届けることができ、地域の思いが伝わった。
- ・ コロナ禍前に比べて、参加者は少なかったが、参加者の姿を久しぶりに見られ、参加者同士のふれあいの場をつくることができ、地域活動の必要性を強く感じた。
- ・ 皆さんに喜んでいただき、顔を合わすことの大切さを改めて感じた。

- ・ コロナ禍でも、地域内の高齢者のことを考えると、地域として、出かける機会やふれあいの場をなくしてしまうわけにはいかないので、感染症対策をしながら、できる活動は実施していく。

- ・ Zoom等を使い、オンラインでも行事開催を企画したい。

<活動別の工夫・感想事例>

# 会議・運営

## Meeting / Operation

人と人との接触が制限される中、各地域はどのような工夫をしているのでしょうか？  
コロナ禍でも地域の対話を止めることなく継続的に地域活動を実施することもできます。

工夫

### (連絡方法)

- ・ 役員と班長にできるだけLINEを登録していただき、回覧板や配布物、各戸からの質問等を連絡している。役員、班長が交代してもLINEグループを維持している。
- ・ 定例会の会議案内はメールで行っている。
- ・ LINEやメールが使えない方はポストに書面投函し、連絡している。
- ・ 情報連絡手段としてクラウドサービスを開設するため、町会設立時にメールアドレスを取得し、アカウント登録を行った。

### (開催方法、会場の使い方)

- ・ 会場定員の半数で会議を開催した。
- ・ 活動内容減少のため、本年度委員を2割削減し、スリム化を行った。
- ・ 3か月毎に、組長が変わるため、新しい組長が集まる常会を開いているが、今年はコロナ禍により開催せず、「組長のお仕事」という文書を作成して個々に手渡した。運営業務のマニュアル化、標準化の推進、運営記録の引継ぎが図れた。
- ・ 年次総会を中止し、文書による承認とした。
- ・ 毎月の自治振地区委員会後に委員通信を発行し、配布することで委員間の情報の共有を図った。
- ・ 紙で管理していた情報をPDF化してLINEで送ることで回覧板や掲示板でなくても情報共有できるようにした。

感想

### 【良かったこと】

#### (LINE等のインターネットを使うことに関し良かったこと)

- ・ 町内会のイベントのお知らせ等は、回覧よりも早く伝わり効果は出ている。
- ・ 雨や風によるポスターの破損がなく、いつでもきれいなまま見ることができる。
- ・ LINEには既読が付くので報告・連絡・相談がスムーズになった。
- ・ 活用者は決まってしまうが、班による格差をなくす目的で、回覧板の補助的なものとしてWebサイトを導入することで、回覧もれがなくなった。



<活動別の工夫・感想事例>

## 会議・運営

Meeting / Operation

### 感想

- ・ 時間によるすれ違いがなくなり、必要事項を確実に連絡できるようになった。
- ・ ポスターを掲示板に貼るよりも、PDFにして共有する方が、町会内に伝わりやすく、情報の共有を幅広く、即座に行えるようになった。
- ・ 集まって会議すべき内容をLINEで事前にやりとりすることで会議時間の短縮につながった。
- ・ LINEの他、委員同士の情報共有を確実にするため、委員通信の発行・配付を行った。

### 【困っていること】

#### (LINE等のインターネットを使うことに関し困っていること)

- ・ スマホを持っていない人や、使い方が分からない人がおり、LINE等の全体的な活用率は低い。
- ・ Webサイトで会議録を共有し、一般の人が見られないようにパスワード制にしているが、忘れて見られないことが多々あった。
- ・ いつでも連絡が取れてしまうので、夜間でも対応が断りづらい場合がある。
- ・ LINEができない人がいるので、電話連絡のみとなり対応が遅くなる場合がある。
- ・ Zoom等を活用したいが、役員全員のリモート形式へ移行するための設備が構築できていない。

### 今後の活動 に向けて

- ・ インターネットを活用しZoom等のリモート形式を全員が進めていく方法を模索する。
- ・ 役員、班長だけでなく、町会全体を対象としたLINEグループも作りたい。
- ・ 各班のある程度使える人を情報係員として、高齢者や、スマホを持っていない方の中の希望者を中心にWebサイトの使い方を伝えていこうと考えている。
- ・ SNSやLINE等の利用は、個人情報保護の観点から、まだ考えていないが、Webサイトを全面的に活用できる方向で進めていきたい。
- ・ イベントだけでなく、地域団体の活動や安全パトロールの様子等も掲載し、町会が何をしているか知ってもらうことに重点を置きたい。そして、コロナや防災に役立つようなことへつなげていきたい。
- ・ 連絡をLINE以外でもできるよう連絡網を作成する等、不公平が生じない工夫が必要である。

<活動別の工夫・感想事例>

# 情報発信

## Offer Information

感染の再拡大に備えて、  
チラシ等の紙媒体に加え、  
インターネットやスマホ  
アプリを活用する等、  
情報発信も工夫して取り  
組みましょう。

工夫

感想

- ・ 例年実施している防災訓練やイベント等に取り組むことができない中、ホームページで過去に実施した行事の紹介やまち協の組織の説明等、地域の魅力を発信した。
- ・ 「新型コロナ感染対策とワクチン接種ニュース」を発行し、住民不安の解消に努めた。また、「熱中症対策」、「食中毒に注意」、「夏の交通事故防止」のチラシを作成し回覧や掲示をした。

### 【良かったこと】

- ・ ホームページで情報発信することで不特定多数の人に地域の魅力を知っていただくことができた。
- ・ 情報発信することで、みんなの意識の向上がみられて良かった。

### 【困っていること】

- ・ 高齢者の巣ごもりにより、心身機能の低下が見られ、当たり前のことができなくなり、家の外から声掛け等を行うが、顔を合わせての確認がしにくい。
- ・ 役員会やまち協ニュースでホームページの紹介を行っているが、地域内での認知度は不明である。発信者が固定されていることもあり、情報に偏りがあるのではないかとの指摘もある。

## 今後の活動 に向けて

- ・ 今後は、情報を一方的に送るのではなく、双方向を意識した情報発信が可能となるようホームページの充実を図りたい。
- ・ 高齢者の見守りを強化していきたい。
- ・ 人との交流について、みなさんから意見を集約し、今後の活動に役立てていきたい。

# 他市事例

## Other Cities

他市で参考になる事例を  
ご紹介します。

### ▶ 困ったことはありませんか？ポスト投函見守り

○「ポスト投函見守り」を昨年9月より実施したところ、「話を聞いてほしい」と反響があった。お伺いして喜んでいただけたケースや、「元気です」とのお返事もたくさんいただいている。その後、半年経ったが、コロナも収まらず2回目を実施した。

○見守り名簿は100名であったが、敬老の日のお祝い品の配布に、見守り希望の案内を同封したところ140名に増加した。非常事態宣言中は郵送で実施した。

### ▶ 防災動画～届ける防災！？～

○今年度は集合型訓練の実施が難しい状況のなか、元々参加者しか情報を得られない防災訓練への問題意識から「届ける防災訓練」を提案。

○地域独自の防災動画を作成し、地域住民や小学生に見てもらい、防災に関心を持ってもらおうという狙いで、地域役員が動画を通して紹介を行った。

- 【動画の内容】
- ・ 小学校の備蓄倉庫について
  - ・ 公園にあるかまどベンチについて
  - ・ アルファ化米の作り方 等

### ▶ 地域×スマホ×学生「今日から使えるLINE講座」

○大学生による「今日から使えるLINE講座」を開催した。

○コロナ禍だからこそ、離れた場所にいるお孫さんとオンラインビデオ通話をしたいという地域の高齢者のニーズとスマホが得意な学生がベストマッチした。

○学生が参加者のスマホを触るためお互いの感染対策のためゴム手袋を着用したうえで、マンツーマンで丁寧に楽しくレクチャーした。

# さいごに

## Conclusion

本事例集では、お寄せいただいた事例の中からいくつかの取り組みや工夫等をピックアップして掲載しています。今回掲載した取り組み以外にも、地域においては様々な工夫等を行いながら、それぞれの地域のために活動に取り組まれていることと思います。コロナ禍において新たに取り組まれている地域活動の事例等がございましたら、コミュニティ政策推進課まで情報提供いただきますようお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報は、下記サイト等をご覧ください。

| 名称                                 | ホームページアドレス                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内閣官房ホームページ<br>(新型コロナウイルス感染症対策)     | <a href="https://corona.go.jp/">https://corona.go.jp/</a>                                                                                                    |
| 厚生労働省ホームページ<br>(新型コロナウイルス感染症について)  | <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html</a>  |
| 大阪府ホームページ<br>(新型コロナウイルス感染症関連特設サイト) | <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/default.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/default.html</a>                                                            |
| 八尾市ホームページ<br>(新型コロナウイルス感染症について)    | <a href="https://www.city.yao.osaka.jp/category/1-22-3-0-0.html">https://www.city.yao.osaka.jp/category/1-22-3-0-0.html</a>                                |

【発行者・お問合せ】 八尾市コミュニティ政策推進課

〒581-0003

大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL : 072-924-3818 / FAX : 072-992-1021

E-Mail : com-suishin@city.yao.osaka.jp

